

松浦市 年始の行事

7 日 消防出初式



3 __ 24 分団、約 350 人が式典会場へ向けて見事な分列行進を披露。4 __ 式典の最後には消防車 6 台による一斉放水が行われ、防火・防災への意識を新たにした。

8 日 志佐・庄野地区 ももてこう 百手講



5 __ 矢を射て五穀豊穡を祈願する伝統行事。今年は守山清和さん、北川亮さんが地域住民らが見守る中射手を務めた。前半、イタビの木で作られた弓に慣れるのに苦戦したものの、懸命に的を狙い、50 本中 11 本の矢を的中させた。

14 日 調川町 鬼火たき



空手道、剣道、少林寺拳法、なぎなたの 4 競技、約 40 人が形や稽古の様子を披露した。



8 __ 調川地域まちづくり運営協議会「調創会」の約 15 人が 1 日半かけて製作した鬼小屋。

鬼火たきは毎年 1 月 7 日に開催されるが、乾燥による火災予防のため延期していた。地域住民らは高く燃え上がる炎を見上げ、無病息災を祈った。

6 日 星鹿町 もぐら打ち



1 __ 中学1年生までの子どもたち14人が2班に分かれて約100戸の家をまわり、班ごとに異なる囃子詞はやしことばを唱えながら玄関の床をたたいてまわった。

11 日 大般若



6 __ 志佐町や福島町の一部の地区で受け継がれる伝統行事。志佐町里地区では、還暦を迎える金子裕一さんらが経典の入った箱を担ぎ、赤間ミサ子さんが玄関先を海水で清め250戸以上の家をまわった。

取材できたもののみ掲載しています。

6 日 松浦魚市場初セリ



2 __ 早朝5時威勢のいいセリ人の掛け声で今年のセリが始まった。

12 日 武道始め式



7 __ なぎなた競技の西垣省吾さんが「一意専心（雑念を払い一つのことに集中する）に稽古に励みたい」と新年の抱負を述べ式典がスタート。